

株式会社JR東日本テクノサービス 行動計画

社員が仕事と子育てを両立させることができ、社員全員が働きやすい環境をつくることによって、全ての社員がその能力を十分に発揮できるようにするほか、女性が職業生活において、活躍できる雇用環境の整備するため、次のように行動計画を策定します。

1. 計画期間 2023年4月1日から2026年3月31日まで（3年間）

2. 当社の課題 (1) 登採用者に占める女性の割合が減少している。
(2) 管理職に占める女性の割合が少ない。
(3) 育児休業の取得率が低い。
(4) 年次有給休暇の取得率が低い。

3. 目標と取組内容・実施時期

目標1：社員登採用者に占める女性比率を30%以上にします。

《取組内容》

- ・高校生採用向け「企業ガイドブック」を3県（宮城、山形、福島）に拡大し、応募者数の増加に取り組みます。
- ・学校訪問や企業説明会などを通じて、女性が活躍している企業であることを積極的に周知します。
- ・高校生の職場体験などを積極的に受け入れ、当社の魅力を発信します。
- ・女性が活躍する場を拡大するため環境整備を推進し、社員登採用者の増加に取り組みます。
- ・採用活動を振り返り、次年度以降の活動に向けた課題を抽出し、採用計画を策定します。

目標2：管理職（チーフ以上）に占める女性比率を20%以上にします。

《取組内容》

- ・女性従業員による意見交換会を実施し、昇進に対する課題の抽出と解決策を検討します。
- ・意見交換会等で出された解決策に取り組み、昇職等試験受験への意欲を行います。
- ・女性従業員の柔軟な働き方に向け、営業所へのフレックスタイム制導入を推進します。
- ・受験者数の推移などを分析し、次年度以降の行動計画を策定します。

目標3：男性従業員の育児休業取得率を50%以上にします。

「取組内容」

- ・育児休業に関する相談窓口対応者を対象とした教育を行い、従業員の利用向上を図ります。
- ・育児休業取得者の声を吸い上げ、社内広報誌で共有し取得率向上に取り組めます。
- ・相談窓口対応者と意見交換会を実施し、次年度以降の行動計画を策定します。
- ・育児休業に関する制度の見直しを検討します。

目標4：本社を含む全ての営業所において年次有給休暇の取得率を80%以上にします。

「取組内容」

- ・有給休暇取得率の低い営業所の要因を分析し、課題解決に取り組めます。
- ・作業方法の見直しやマルチスキル化による効率的な業務体制とし、有給休暇取得率の向上に取り組めます。
- ・有給休暇取得状況を調査し、業務体制の有効性を確認します。